

障がい福祉を地域へ発信!

～地域作業所の特性を生かして～ 12月3日から9日は「障害者週間」です

福祉課 ☎84-0316

障がいにより、一般就労の困難な方が、就労訓練や生活訓練をするための場所「特定非営利活動法人 KOMNY れんげ」が開成町にあります。平成24年4月1日に神奈川県から指定を受け、「就労継続支援B型」の事業所へと移行したKOMNYれんげについてご紹介します。



あじさい祭にて出店

「KOMNYれんげ」とは?

KOMNY とは…
KOMNY は、足柄上郡5町でそれぞれ運営されていた地域作業所が1つに統合したNPO法人
【名称の由来】
K→「開成町」
O→「大井町」
M→「松田町」
N→「中井町」
Y→「山北町」

KOMNYれんげの前身は、「障害者地域作業所れんげの会」といい、障がい者が働く場や生きがいの場として、大きな役割を担ってきました。しかし、平成18年の障害者自立支援法施行に伴い、地域作業所は、障害者自立支援法に規定された事業所へ移行することが求められました。通所者数が10名に満たない小規模な作業所単独では、法

定内事業所への移行は難しい状況がありました。そこで、近隣町（中井町、大井町、松田町、山北町）にある作業所と合併し、「サテライト型広域化」という方式で、「KOMNY」という1つの事業所として法人格を取得し、各町の作業所は、その事業所の支店的な位置づけで存続する形態で、「就労継続支援B型」への移行をしました。



自主製品の風車

就労継続支援B型とは

就労継続支援B型とは、障がいにより、一般就労することが困難な方に対して、就労に関する支援を継続的に提供するサービスです。れんげでは主に、自主製品の製作・販売（キー・クッキーなど）、アルミ缶の回収・つぶし作業、企業からの受注（タオルの袋詰め）などの作業を通して、就労訓練をしています。また、自主製品の販売は、町内の幼稚園や小・中学校へも出張しており、地域との交流を図るためのたいせつな活動です。また、作業以外にも、月2回の調理実習や、それぞれの趣味に合わせた余暇活動を取り入れています。



調理実習でお菓子作り

地域作業所の特性を生かす

KOMNYれんげは、地域作業所として10名以下で運営してきたこともあり、就労訓練や生活訓練の支援を受けながら、毎日を楽しみ、アットホームな雰囲気の中で過ごすことができる事業所です。

所長の村上さんは、「障がいにより、なかなか自分の居場所が見つからない方、ぜひ見学に来てください。また、障がいのある方に限らず、多くの方にれんげを知ってもらいたいと思っていますので、どなたでもお気軽にお立ち寄りください。」と話していました。

町では、障がいのある方に対して就労機会の提供をめざして取り組みを進めています。今後も引き続き、関係機関と連携を図り、障がいのある方の適性に応じて働く場を選択できるよう努めていきます。



子育てひろポイント

104

Q 4月に入園します。親と離れることが苦手なので心配です。

A いつもいっしょにいるお母さんから離れて集団生活を始めることは、子どもにとって大変なことです。お母さん自身も不安と期待が入り混じって、複雑な心境になるでしょう。そんなとき、「お母さんはいないから、一人で何でもやらないとだめだよ」などと言ってしまいがちです。母子分離の苦手な子どもにとっては重荷となり、余計に不安になってしまいます。また、「がんばってね」「お友だちと遊べるよ」などの励ましの言葉も、言い過ぎると逆効果になることもあるので気をつけましょう。

開成町立開成幼稚園

のびのび子育てルーム

☎82-4247

☎83-4198



お母さんは4月からの心配よりも、入園までの時間をたいせつにしようと、気持ちを切りかえてみてください。「一人でやらない」と言うよりも、「いっしょにやってみよう」と手を貸してみましょう。また、ひざに乗せて絵本を読んでも

一 年生は、生活科で「あきのあそび」の学習をしています。秋の虫を飼育したり、紅葉する木々を観察したり、色々な秋を探し、親しみます。

秋 と言え、ドングリを思い出す方も多いかもしれません。ところが、開成南小学校には、ドングリの木が少ないので、町内にある工場の敷地内で、ドングリを拾わせていただくことにしました。

工 場までは、歩いて一時間と少し長めの道のりです。しかし、コスモスの花や楓を見つめる度に、「あきがあつた!」と楽しそうに語り合い、目的地まで元気に歩き続けました。工場では、マテバシイという大きくて立派なドングリをたくさん拾うことができました。

学 校へ帰ってから、ドングリを使って何を作ろうか話し合うと、たくさんの意見が出てきました。その中の一つ、ドングリゴマを、みんなで作ってみることにしました。見本に作ったドングリゴマを見ると、「わあーすごい!」「はやくやりたい。」と、意欲的な声が次々と上がりました。

ま ズドングリに穴を開けます。穴を開けるための機械を使います。教師が補助しながら、力いっぱいハンドルを回し、穴を開けました。次に、楊枝をドングリに挿します。これでだいぶコマらしくなります。さらに、よく回るコマにするために、楊枝を短くする必要があります。

何 でもやる気満々な一年生です。これからも、たくさんの方に挑戦していききたいと思っています。



開成南小学校教諭 富川奈津子

早 速完成したコマを回してみると、「せんせい、まわらないよ。」という声があちこちから上がりました。コマ回しの経験があまりなく、上手に指先でコマを回すことができない子もいました。しかし、何



つくったコマで遊ぶ子どもたち